

# CASBEE<sup>®</sup> 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホテル本能寺	階数	地上9F地下1F
建設地	京都市中京区寺町通御池下ル下本能寺前町522	構造	RC造
用途地域	商業地域, 防火地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店, 飲食店, ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 0.0	評価の実施日	2018年6月7日
敷地面積	2,222.17 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社アール・アイ・イー 岸 雅之
建築面積	848.79 m <sup>2</sup>	確認日	2018年6月8日
延床面積	7,710.81 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社アール・アイ・イー 大平 幸喜



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

環境品質 G vs 環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.6

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.8

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
・地域及び施設の特性を活かした計画とする。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
・断熱性能を向上させ、快適な室内環境とする。	・設備の耐久性を考慮し、厨房タクトはSUS製を採用している。また、衛生配管に3種以上の配管を積極的に採用している。
Q3 室外環境(敷地内)	
・周辺の環境を配慮し、排熱がある機器の大半を屋上に設置している。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
・省エネルギーに配慮し、効率の良い最新の空調機を採用している。	地場産の木材の採用
	LR3 敷地外環境
	・庇をかけ、夏の日陰を創出する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される